校訓
健　康
自　主
奉　仕

明和中便り

３月号　　令和５年３月２２日発行

TEL　282-0163

巣立ちゆく卒業生の皆さんへ

校長　森園　守

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和２年３月から、全国の学校に臨時休校の要請があり、今年度の卒業生の皆さんも入学して間もない４月下旬から、休校措置がとられ、誰もが不安な気持ちを抱えたままのスタートとなりました。常にマスクを着用することが求められ、学校行事も大幅に変更、中でも、中学２年の６月末に予定されていた広島・福岡の修学旅行が延期され、ようやく３学期の３月に実施できたことは、皆さんにとっても大きな出来事だったと思います。

しかし、そのような状況の中でも、今年度の体育大会では「一心同体～繋ぐ伝統　深まる絆　信じた道を突き進め～」のスローガンのもと、最後まで諦めずに競技する姿や友達と協力し、力を合わせて取り組む姿など、最上級生として立派な背中を示してくれたのではないかと思います。背中を追った２年生も１年生も立派に成長しています。皆さんは、この明和中に、先輩を目指すという「憧れの文化」を築いてくれました。

一方で、３年間の生活の中には、辛く放り出したくなる時もあったはずです。しかし、皆さんは、物事は「結果だけ」ではなく、「努力の過程」や「感謝の気持ち」が大切であることを学びました。その日々の中には、絶えずご家族と周囲の方々の支え、励ましがあったものと思います。ぜひ、「ありがとう」の感謝の気持ちを素直に表現して、支えてくれた仲間、先生、ご家族の方々に言葉にして伝えてください。

京セラの創業者で鹿児島大学名誉博士の故・稲盛和夫氏も「挑戦する」ことに対して、「チャレンジという言葉は勇ましく非常に快い響きをもつ言葉ですが、これには裏づけが必要です。困難に立ち向かう勇気とどんな苦労も厭わない忍耐、努力が必要なのです。」さらに、「大きな夢や願望をもつことは大切なことです。しかし、大きな目標を掲げても、日々の取組の中では、一見地味で単純と思われるようなことをしなければならないものです。どのような分野であっても、すばらしい成果を見出すまでには、地味な努力の繰り返しがあるのです。」と話されています。

皆さんがこの明和中学校で学んだ３年間は、まさに新型コロナウイルスに翻弄された３年間と言っても過言ではないものでした。しかし、このように未曾有な状況を、一緒に乗り越えた仲間は、どの世代よりも強い絆で結ばれていることを忘れてはいけません。そして、その仲間たちと共に、逆風を順風に変える工夫と辛抱強い感染予防に努めてきた皆さんは、どの世代にも負けないというプライドを胸にチャレンジ精神をもって、これからの時代をよりたくましく生き抜いていってほしいと願っています。

【 卒業証書授与 】

【 在校生送辞 】

【 卒業生答辞 】

【 吹奏楽部の生演奏 】

【 卒業生合唱 】

【 卒業生入場 】

【 祝辞 PTA 会長 】

【 保護者代表挨拶 】

【 校庭にて最後の学活 】

第４７回卒業式

３月 14 日（火）第 47 回卒業式が行われ、71 名が明和中学校を巣立っていきました。卒業生全員そろって元気にこの日を迎えられたのは何より嬉しいことでした。４年ぶりに保護者等の人数制限がなく、在校生も参加することができました。市教委文化財課徳永愛雄様をはじめ、まちづくり協議会の伊地知会長様、徳田事務局長様他、たくさんの地域の方々に見守られて、明和愛に包まれたとても温かい素敵な卒業式となりました。

式では在校生代表の藤村理紗さんが３年生への感謝の気持ちを込めて、送辞を述べました。また、卒業生代表の濵﨑蒼太さんは、在校生への想いや先生方、地域の方々、家族への感謝の気持ちを伝え、さらに、「今日という日は残りの人生の最初の日である」という言葉を紹介して、「失敗したことに悲観するのではなく、気持ちを切り替えて新たにスタートを切ることが大切だ」と、それぞれの道へと進む仲間にエールを贈り、不安を乗り越え前進する決意を答辞に込めました。

卒業生は学業、部活動、学校行事と、1,2 年生のよき手本となって学校を盛り上げてくれました。在校生は伝統を受け継ぎ、発展させ、より良い明和中学校を築いていきましょう。卒業生合唱への場面転換が、素早く機敏で流れるように動き、ステージの一部のようで見事でした。また、卒業式前日の準備への取組も大変素晴らしく、この１年間での大きな成長を感じました。在校生のこれからの活躍がとても楽しみです。

２年マナー講座

３月 17 日(金)に、株式会社ＨＡＬビジネスより春田尚子先生をお招きし、職場体験学習に向けたマナー講座を実施しました。なぜ働くのか、どのような働き方をすると幸せか、なぜ職場体験学習を行うのか、社会で求められるマナーやエチケット、夢の実現に向けてなど、本校の教育目標である「自己実現に挑み、社会の一員としての自覚と責任を持つことができる生徒の育成」をメインテーマとして、「日々五行」とも関連させ、具体例を挙げながらお話して下さり、改めて職場体験学習の意義について学ぶことができ充実した２時間でした。

かねてから、笑顔で明るいあいさつができるとお互いが気持ちよく生活できます。マナー講座を通じて、より実感できたのではないでしょうか。

今月の表彰

【 鹿児島冬季段審査 】
初段取得　２年　森園巧己　相良奈穂　乙須愛理
【 今村総合病院第７回絵画コンクール 】
慈愛会賞　２年　若松ゆかり

祝

4月の主な行事

４月 ６日(木)　新任式　始業式　入学式　１年ＰＴＡ
７日(金)　身体計測　２，３年ＰＴＡ
ＰＴＡ学年専門部長会・学年委員会
８日(土)　土曜授業　１年知能検査
10 日(月)　１，２年標準学力検査　父親セミナー
11 日(火)　１年標準学力検査　１年心臓検診
12 日(水)　新入生歓迎会
13 日(木)　ＰＴＡ学校委員会（新旧運営委員会）
14 日(金)　家庭訪問（19 日.20 日.21 日.25 日.26 日）
５月 10 日(水)　ＰＴＡ総会　二校ＰＴＡ
12 日(金)　ＰＴＡ運営委員会　ＰＴＡ総会二次の会
13 日(土)　土曜授業　第１回ＰＴＡリサイクル活動
小中合同ＰＴＡ歓迎会

学校電話の自動音声応答装置の導入

鹿児島市では、全ての教職員が授業準備等に十分な時間を確保しながら、ゆとりを持って生徒と接し、教育活動に専念できる環境を整えるため、教職員の働き方改革の取組の一環として、全ての市立小・中・高等学校に自動音声応答装置を令和４年４月１日より導入しています。つきましては、本校では、下記の要領で導入していますので御理解と御協力をお願いします。

〇自動音声装置による応答時間（原則）
・平日 ⇒ １９：００～翌日７：３０
・土曜日・日曜日・祝日等 ⇒ 終日
・土曜授業日 ⇒ １３：００から
・長期休業期間中⇒１６：４５～翌日８：１５
※　応答時間が変更になる場合もあります。

令和５年度の土曜授業は、８月と３月を除く計 10 回実施します。

保護者の皆様、地域の皆様、令和４年度も本校の教育活動に温かい御支援と御協力をありがとうございました。